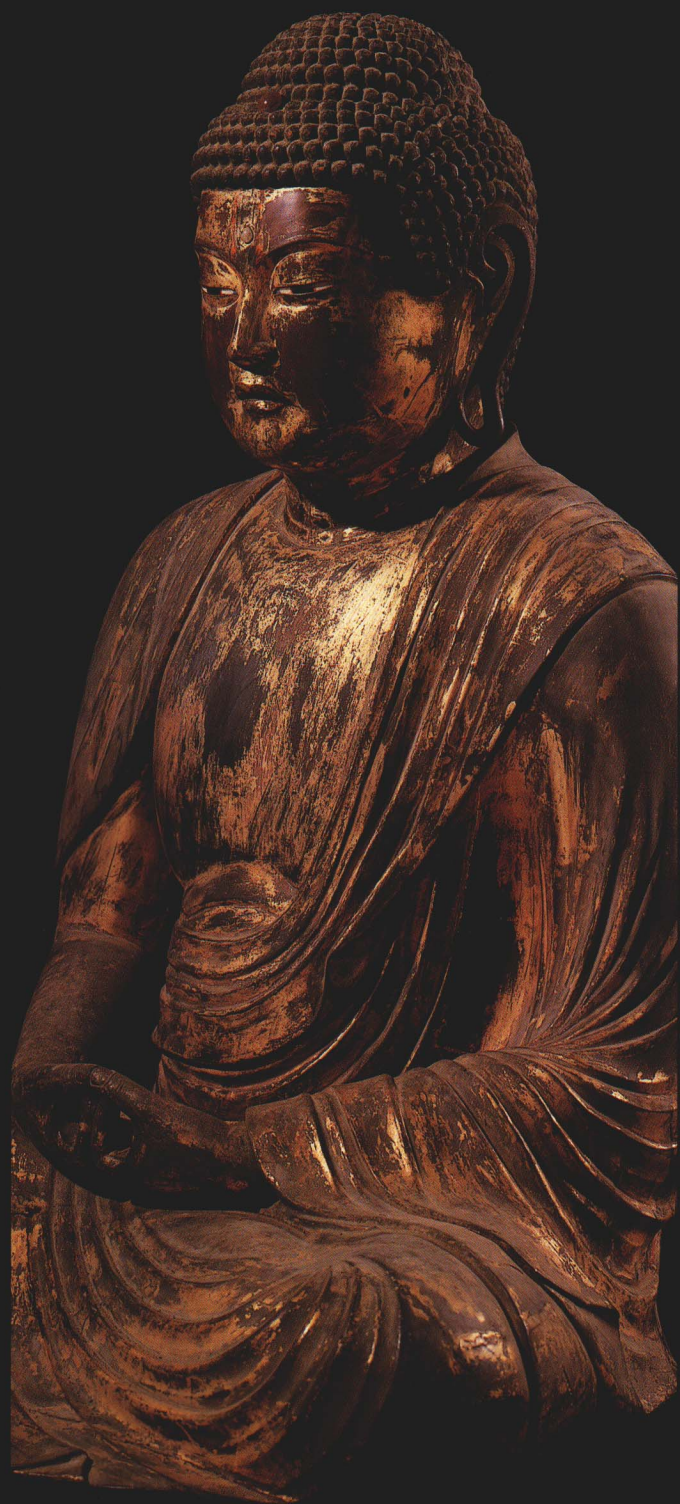


伝統を生んだ"歴史上の舞台



INAMURA

いにしへの熱き思いを 現代に継承する

その昔柳川の庄と呼ばれていた伊南は、村の各所から縄文土器が出土するなど、いにしえから人が住んでおり、中央を流れる伊南川のもとで生まれた文化と歴史は、現在の私たちの心のなかに息づいています。

農民の娯楽であった村芝居の様子を今に伝える大桃の舞台、かつて幕府直轄の天領として栄えた御蔵入を偲ばせる文化財、そして戦国時代、伊達軍から伊南の領地を守り抜いた名将・河原田氏の面影を残す久川城の城跡などが各所に残り、村を一巡すればタイムスリップの気分。また伊南の歴史を見つめてきた樹齢八百余年のイチヨウの巨木、古式ゆかしい祭など、歴史の里にはつきない魅力があふれています。